



街とヒトの成長を見つめて1世紀

ワタケンだより

春号
2024年
No.72

特集

市営プールの名で親しまれた 裾野市立水泳場の追憶

トピックス

令和5年安全祈願
こころのままアート



不二聖心女子学院中学校・高等学校「枕流庵」/裾野市



今年、恩師が第一線を退きます。私がお世話になった中小企業大学校で卒業論文執筆のご指導を頂いた恩師が今年で指導担当から降りることになりました。専門分野は人的資源管理で企業における組織の組み立て、運用などをどのように行うか、人材をどのように活用していくのかという論点を学術的な視点だけでなく、実際に中小企業のコンサルティング業務に携わった経験から、実体験に基づく経験論も踏まえて指導をいただきました。大学生の時よりハードな講義や指導でしたが、有意義な時間を過ごすことができたのは紛れもなく先生の指導があったからです。

先日、卒業以来約十年ぶりに指導を頂いた同期全員が集まり、慰労会を開催しました。

こうして同期全員が集まるのは卒業以来でしたが、研修生活の思い出が昨日のことのように思い出され楽しい時間を過ごすことが出来ました。



代表取締役
渡辺 正高

「恩師」の意味

正直、高校でも大学でもない一年生の研修生活にも関わらず、こうして全国から皆が多忙な中集まることができたのも、恩師が親身になった私たちを指導していただいたからであり、皆がそれを理解しているからこそ十年経ってもこうして集まることのできるのだと思います。

コロナの自粛期間は思うように人と会うことが出来ず、新しい社会スタイルが確立されていく中で懐かしい人や身近にいない人との距離が広がったように思えます。SNSなどもあるのに無理に会う必要もないと言えど、そうなのですが、やはり直接顔を合わせて話をする事でかつての記憶が思い出され、思い出を懐かしんだり、現在の自分の成長を実感したり、そして新しい発見があったりするものだと改めて思いました。せっかく動けるようになったのだからこれからは懐かしい人たちの再会や新たな出会いを求めて活動していきたい、そう思えた今回の同期会でした。

桜の開花時期もだいぶ早くなってしまいましたが、昔からの仲間を懐かしみ新しいスタートに期待に胸が高鳴る四月特有の特別な感情は今も昔も変わることはなさそうです。

作品 WORKS

㈱オムニカ裾野工場第二倉庫

開成小学校一五〇周年
記念中庭改修/開成町



佐野川支川砂防中条川左支川
自然災害防止対策工事/裾野市

F様邸/長泉町



【発行】渡辺建設株式会社

〒401-2255 裾野市富沢三九四-1

電話〇五五九二〇〇三〇代

【編集】ワタケンだより編集部

「心そのままアート」作品を社内にて掲示

三嶋大社にて
安全祈願を実施



一月六日、三島市の三嶋大社にて弊社及び渡辺建設株式会社安全推進協力会主催による安全祈願を執り行いました。

弊社の渡辺正高社長、協力会の近藤宜孝会長をはじめとした幹部九人が、今年一年間の無事故無災害と商売繁盛を祈願しました。

当日は厳しい寒さの中にも早春を感じさせる日差しが天気、祈願を行う上で大変素晴らしい日となりました。

特定非営利活動法人こころのまま様より期間限定で弊社二階に作品を展示させていただいております。

心そのままアートとはそのどれもが誰のものでもない「色員さん」一人一人の想像や発想で表現された美しい作品です。

今回、飾られている作品は「心そのままアート展」において企業賞として、カラフルな色使いで建設会社の明るい未来を表現しているような素敵な作品だと思ひ選択させていただきました。

白で統一された弊社の廊下



下がとても華やかになりました。展覧会「心そのままアート展」では色員さんたちによって描かれた多様な作品を実際に見て感じる事ができます。

写真では伝わりにくい鮮やかさや自由さをぜひ体感してみたいかがでしょうか？

※開催時期につきましては特定非営利活動法人こころのままのHPをご参照ください。



過去に施工した現場にて掲載されたアートギャラリーになります。



このリーフレットは、環境に配慮し、植物油インキを使用しております。

弊社 水泳場工事の経歴

年 度	工事名	工期
昭和37年	裾野町営水泳場建築工事	1962.5.1~1962.10.1
昭和59年	裾野市立水泳場改修工事	1984.6.7~1984.6.29
平成元年	裾野市立水泳場整備工事	1989.4.28~1989.6.20
平成2年	裾野市立水泳場改修工事	1989.4.28~1989.6.20
平成15年	裾野市立水泳場小プール改修工事	2003.5.20~2003.6.25
令和5年	裾野市立水泳場解体工事	2023.7.27~2024.2.29



大プール



小プール

管理・更衣棟

当時裾野市在中の社員の皆様に 水泳場の思い出を聞いてみました



*とても貴重な一枚です。

昭和44年 市民プールにて
深良中水泳大会
K・H (深良)

市民プールへは、子供と友達に頼まれてよく連れて行きました。

子供達が楽しそうに遊んでいる姿と待っている間の暑さ(プールは冷たくて気持ちよさそうだな)と思っていたことを思い出します。子供との夏休みの思い出ですね。

S・A(桃園)

R6.2月 解体完了

市民プールは小中学校の夏休みに行っていました。

プールで泳いだ後、外の移動販売のジェラート屋さんで、チョコミントのアイスを食べるのが楽しみでした。

H・T(茶畑)



夏休みに友達とよく自転車で通いました。

小学校のプールより水深が深くて飛び込んだりして遊びました。(今の時代は禁止らしい)

また、小学校の代表で市内水泳大会に50mクロールの部に出場しました。

東小学校の生徒にタッチの差で負けて悔しい思いをしたことがありました。

小学生の楽しい思い出が詰まった施設がなくなってしまったのはとても悲しいです。

T・K(御宿)



今から43年前の話になりますが、小学校のプールが休みのときは近所の友人たちと一緒に徒歩で市営プールへ行きました。稲荷に住んでいた私たちは御殿場線を北上し震橋へ出ていくルートでした。

小学校のプールより広く、深く、冷たかったので紫色の唇になってガタガタ震えながら出てきた記憶があります。

帰り道は震橋の商店でアイスを買って食べながら帰りました。長い道のりでしたが小さな冒険のようで刺激的な体験でした。

M・S(稲荷)

小学生の頃、特に高学年の時には夏休み限定の水泳教室が水泳場で開催されていて、友達と通っていました。

泳いだ後に飲む自動販売機のパナナオレが大好きでした。

パナナオレを見るとあの頃の水泳場の記憶が蘇ります。

T・Y(岩波)

市営プールの名で長らく親しまれた 裾野市立水泳場が解体されました



裾野市民プール解体で思い出したこと

渡辺 雄二

昨年、弊社で裾野市民プール解体工事を受注させていただきました。工事も順調に進み、無事故無災害で完了し、現在は綺麗に更地に戻った姿を見て、在りし日の多くの人で賑わった市民プールの姿を思い出しました。

昭和30年代、まだ小学校低学年だった私の夏休みの楽しみは、他の子供たちと同様水遊びでした。当時は自宅近くの黄瀬川で近所の先輩に連れられての川遊びが何よりの楽しみでした。現在と違いまだ護岸もなにもなく、ごつごつとした岩の間を水の流れに身を任せ、下流まで泳ぐことを夕暮れ近くまで何度も繰り返すのが常でした。そして親に持たされたトマトやまくわ瓜などをおやつに食べ、食後は川辺の雑木にいるカブトムシ、クワガタ捕りに精を出す、という少年時代を過ごしたわけです。

年に一度、子供会の行事で沼津市島郷海水浴場に行くことがありましたが、寄せる波としょっぱい海水に目が痛くなり、なかなか上手く泳げなかったことを記憶しています。

そんな頃、石脇に当地随一ともいえる50mプールが完成しました。当時社長であった亡父からは、公認プールということで厳密な精度を出すため、綿密な施工管理を求められ、竣工後もとても厳しい検査を受け、ようやく合格したとの話を酒飲み話でよく聞かされたものでした。

当初はバスで、そのうち自転車で自宅のあった二ツ屋から、出来上がった市民プールのある石脇へと通うのが夏の楽しみに変わりました。もちろん各小学校には当時プールはなく、石脇の市民プールは小学生、中学生はもとより、多くの市民であふれていました。さらには、市内はもとより、御殿場方面からの来場者も多く、まさに近隣に誇れる施設だと子供ながらに誇りに思ったものでした。

そんなプール通いも、一時子供たちを連れて行ったのを最後に、足が遠のいてしまいました。各学校にプールが建設されたことや、スイミング教室など室内プールでの水泳が主力になったことで、時代の流れとともに市民プールのニーズが減って行き、夏でも閑散としたプールに変貌していきました。そのうち老朽化もあり、いつしかプールそのものも閉鎖となってしまいました。

所属するライオンズクラブで年2回隣接するせせらぎ公園の清掃を行っていますが、閉鎖されたプールを見るのはとても寂しい思いでした。これから跡地をどのように整備するのか現在討議されているようですが、60年以上にわたり、裾野市民の水泳能力向上に大いに寄与した市民プールに匹敵するほどの素晴らしい施設として、再活用していただけるよう願って止みません。

